

病害虫発生予報 第2号

富山県農林水産総合技術センター所長

5月の病害虫発生予報

【予報の概要】

作物名	病害虫名	発生量	発生時期	作物名	病害虫名	発生量	発生時期
水稲	もみ枯細菌病	やや多い	並	果樹	リンゴのうどんこ病	やや多い	並
	イネミズゾウムシ	並	並		リンゴの褐斑病	やや多い	並
	イネドロオイムシ	並	並		リンゴのキンモンホソガ	やや多い	並
	イネゾウムシ	並	並		ニホンナシの黒星病	やや多い	並
大麦	うどんこ病	並 (局部やや多い)	—		ニホンナシのナシヒメシンクイ	並	並
	赤かび病	並	並		ブドウの灰色かび病	並	並
大豆	タネバエ	並	並		ブドウのべと病	やや少ない	並
	ネキリムシ類	並	並		モモのせん孔細菌病	やや多い	並
野菜	ネキリムシ類	並	並		モモのモモハモグリガ	少ない	並
	タマネギのべと病	並	—		花き 球根	チューリップの褐色斑点病	並
	タマネギの白色疫病	並	—	チューリップの球根腐敗病		やや多い	—
	タマネギ・白ねぎのネギアザミウマ	やや多い	並	チューリップのモザイク病		やや多い	—
リンゴ・ニホンナシのハダニ類	並	並	チューリップのアブラムシ類	やや多い		—	
果樹	リンゴの黒星病	少ない	並				

富山県農林水産総合技術センター 農業研究所 病理昆虫課

TEL 076-429-5249 FAX 076-429-7974

情報参考 URL

<http://www.pref.toyama.jp/branches/1661/index.html>

I 水 稻

1 もみ枯細菌病

- (1) 予報内容 発 生 量：やや多い
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 4月下旬～5月上旬の気温が高いと予想されている。

- (3) 防除対策

- ・ 高温・多湿等で発病が多くなるので、育苗温度やかん水量に注意する。
- ・ 防除指針 16, 18, 19 ページ参照

2 イネミズゾウムシ

- (1) 予報内容 発 生 量：並
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

- ・ 前年6月5日（被害盛期）の調査では、被害葉率が0.99%で、平年（0.91%）並であった。

- (3) 防除対策

- ・ 防除指針 34 ページ参照

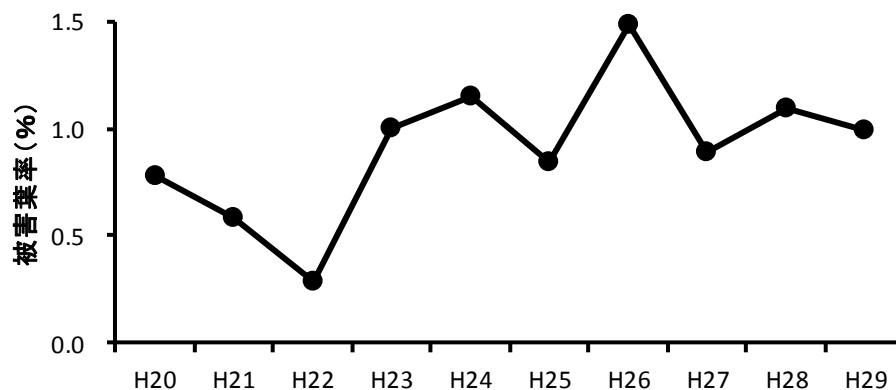


図 イネミズゾウムシの被害葉率の年次推移(6月5日調査)

3 イネドロオウムシ

- (1) 予報内容 発 生 量：並
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・ 前年6月20日（被害盛期）の調査では、被害葉率が0%で、平年（0.01%）並であった。

- (3) 防除対策

- ・ 防除指針 35 ページ参照

4 イネゾウムシ

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・前年6月5日（被害盛期）の調査では、被害葉率が0.01%で、平年（0.01%）並であった。

- (3) 防除対策

- ・防除指針 34 ページ参照

II 大 麦

1 うどんこ病

- (1) 予報内容 発生量：並（局部やや多い）

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・4月25日の調査では、発病度が2.3で、平年（1.3）並で、一部地域で高かった。

- (3) 防除対策

- ・防除指針 48ページ参照

2 赤かび病

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

- ・4月下旬～5月上旬の気象予報では、出穂後10日間の気温は高いが、降水量は平年並と予想されている。

- (3) 防除対策

- ・防除指針 49ページ参照

III 大 豆

1 タネバエ

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並

- (2) 予報の根拠

- ・5月の降水量はほぼ平年並と予想されている。

- (3) 防除対策

- ・早期播種や堆肥及び緑肥施用ほ場では、被害が多くなるので防除を徹底する。
- ・ほ場の排水に努める。
- ・防除指針 51、53 ページ参照

2 ネキリムシ類（タマナヤガ、カブラヤガ）

- (1) 予報内容 発 生 量：並
 発生時期：並
- (2) 予報の根拠
 - ・フェロモントラップによる4月の誘殺数は平年並であった。
- (3) 防除対策
 - ・出芽後定期的にはほ場を見廻り、食害の早期発見に努める。
 - ・ほ場周辺の雑草は、は種の一週間程前に刈取る。
 - ・防除指針 51 ページ参照

IV 野 菜

1 ネキリムシ類（タマナヤガ、カブラヤガ）

- (1) 予報内容 発 生 量：並
 発生時期：並
- (2) 予報の根拠
 - ・フェロモントラップによる4月の誘殺数は平年並であった。
- (3) 防除対策
 - ・出芽後定期的にはほ場を見廻り、食害の早期発見に努める。
 - ・ほ場周辺の雑草は、は種・定植の一週間程前に刈取る。
 - ・防除指針 81～145 ページのネキリムシ類の項を参照

2 タマネギのべと病

- (1) 予報内容 発 生 量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・5月の降水量はほぼ平年並と予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・排水対策を徹底する。
 - ・防除指針：115ページ参照

3 タマネギの白色疫病

- (1) 予報内容 発 生 量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・5月の降水量はほぼ平年並と予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・防除指針：115ページ参照

4 タマネギ・白ねぎのネギアザミウマ

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
【多発要因】
・5月の気温は高いと予想されている。
- (3) 防除対策
・防除指針：白ねぎ112～113, タマネギ116ページ参照

V 果 樹

1 リンゴ・ニホンナシのハダニ類

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
・前年の発生量は平年並であった。
- (3) 防除対策
・防除指針 リンゴ158ページ、ニホンナシ169ページ参照

2 リンゴの黒星病

- (1) 予報内容 発生量：少ない
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
【少発要因】
・前年の発生量は平年より少なかった。
- (3) 防除対策
・5月上旬は本病の重要防除時期であるので、散布間隔が開かないよう防除を実施する。
・防除指針 151, 154, 155, 159, 160 ページ参照

3 リンゴのうどんこ病

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
【多発要因】
・一部産地で前年の発生量がやや多かった。
- (3) 防除対策

- ・うどんこ病の被害枝、一次発生花（葉）そうは見つけ次第せん除する。
- ・開花直前から落花20日後頃までが重要防除時期にあたるので定期防除に努める。
- ・防除指針 151, 154, 155, 159 ページ参照

4 リンゴの褐斑病

- (1) 予報内容 発生量：**やや多い**
 発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・前年の発生量はやや多かった。

- (3) 防除対策

- ・すでに子のう胞子の飛散が始まっているので、定期防除に努める。
- ・防除指針 151, 154, 155, 159, 160 ページ参照

5 リンゴのキンモンホソガ

- (1) 予報内容 発生量：**やや多い**
 発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・一部産地で、前年の発生量がやや多かった。

- (3) 防除対策

- ・防除指針 151, 156, 157, 160, 161 ページ参照

6 ニホンナシの黒星病

- (1) 予報内容 発生量：**やや多い**
 発生時期：並

- (2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・芽基部病斑の発生量は平年より多くなっている。

- (3) 防除対策

- ・芽基部病斑、罹病葉や罹病果を速やかに除去し処分する。
- ・薬が付着しやすいよう側枝の配置を見直す。
- ・防除指針 163, 165, 166, 170 ページ参照

7 ニホンナシのナシヒメシンクイ

- (1) 予報内容 発生量：並
 発生時期：並

(2) 予報の根拠

- ・ 前年の発生は平年並であった。
- ・ 4月1～4半旬の果樹研究センターでのトラップへの誘殺数は2.0頭で平年(3.5頭)並であった。

(3) 防除対策

- ・ 5月中旬、下旬の防除を確実に実施する。
- ・ 防除指針 163, 167, 168, 171 ページ参照

8 ブドウの灰色かび病

- (1) 予報内容 発生量：並
発生時期：並

(2) 予報の根拠

- ・ 5月の降水量はほぼ平年並と予想されている。

(3) 防除対策

- ・ 開花直前および落花直後が重要防除時期である。開花前から徒長枝の発生に注意して棚面を明るくし、通風をよくする。また、ハウス栽培では過湿にならないよう換気を図る。
- ・ 防除指針 173, 175, 176 ページ参照

9 ブドウのべと病

- (1) 予報内容 発生量：やや少ない
発生時期：並

(2) 予報の根拠

【少発要因】

- ・ 前年の発生量はやや少なかった。

(3) 防除対策

- ・ 5月上旬(展葉5～6枚時)から10日間隔で防除を実施する。
- ・ 罹病した花穂が認められた場合、直ちに摘み取る。
- ・ 防除指針 173, 175, 176 ページ参照

10 モモのせん孔細菌病

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
発生時期：並

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・ 一部産地で、春型枝病斑の発生がやや多い。

(3) 防除対策

- ・ 春型枝病斑は見つけ次第、せん除する。
- ・ 防除指針 182, 184, 186 ページ参照

1 1 モモのモモハモグリガ

- (1) 予報内容 発生量：少ない
発生時期：並
- (2) 予報の根拠
【少発要因】
 - ・ 前年の発生量は平年より少なかった。
- (3) 防除対策
 - ・ 防除指針 182, 184, 185, 186 ページ参照

VI 花き・球根

1 チューリップの褐色斑点病

- (1) 予報内容 発生量：並
- (2) 予報の根拠
 - ・ 予察圃場（無防除）における4月21日の調査では、発病株率が35.9%で、平年（62.1%）よりやや少なかったが、5月の降水量はほぼ平年並と予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・ 発病株の抜き取りと薬剤散布による防除を確実に行う。
 - ・ 防除指針：198 ページ参照。

2 チューリップの球根腐敗病

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
- (2) 予報の根拠
【多発要因】
 - ・ 5月の気温は高いと予想されている。
- (3) 防除対策
 - ・ 発病株の抜き取りを徹底する。
 - ・ 停滞水とならないように圃場の排水に努める。

3 チューリップのモザイク病

- (1) 予報内容 発生量：やや多い
- (2) 予報の根拠
【多発要因】

- ・前年の発生量が多かった。

(3) 防除対策

- ・モザイク病発病株の抜き取りとアブラムシ類の防除薬剤を定期的に散布する。
- ・防除指針：199、223～224 ページ参照。

4 チューリップのアブラムシ類

(1) 予報内容 発生量：**やや多い**

(2) 予報の根拠

【多発要因】

- ・5月の気温は高いと予想されている。

(3) 防除対策

- ・生育後半まで定期的に薬剤を散布する。
- ・防除指針：199、223～224 ページ参照。

- ・農薬の使用にあたっては、使用回数、使用時期等の使用基準を遵守する。
- ・周辺作物や住宅地等への農薬の飛散防止に努める。

北陸地方 1か月予報

(4月28日から5月27日までの天候見通し)

平成30年4月26日
新潟地方气象台 発表

<予想される向こう1か月の天候>

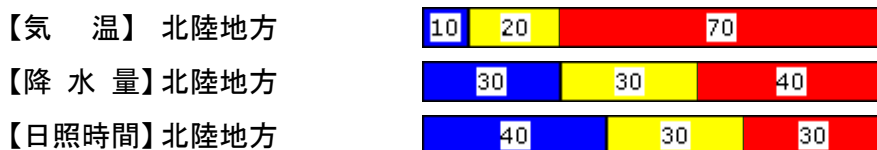
向こう1か月の出現の可能性が最も大きい天候と、特徴のある気温、降水量等の確率は以下のとおりです。

天気は数日の周期で変わり、平年と同様に晴れの日が多いでしょう。

向こう1か月の平均気温は、高い確率70%です。

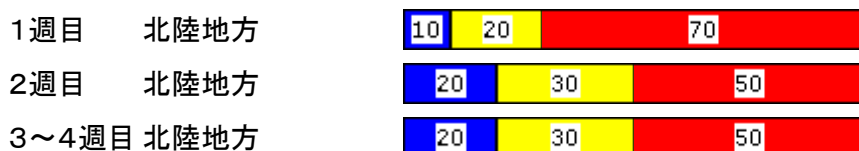
週別の気温は、1週目は、高い確率70%です。2週目は、高い確率50%です。3～4週目は、高い確率50%です。

<向こう1か月の気温、降水量、日照時間の各階級の確率(%)>



凡例: 低い(少ない) 平年並 高い(多い)

<気温経過の各階級の確率(%)>



凡例: 低い 平年並 高い